

環境にやさしい

3000系

西鉄は、天神大牟田線・貝塚線が今年で開業100周年を迎えた。そこで、西鉄は、環境を守るために鉄道、駅で何か行っているのか気になって、今回調べて新聞にまとめることにした。



まずは、車両から！
右の写真は、天神大牟田線の3000系。実は3000系は、デザイン性と環境面を重視して作られている。



3000系は、車体の軽量化による消費電力の低減や、省メンテナンスなどで環境にやさしい車両になっている。車内は、西鉄では唯一のクロスシート。乗り心地もよく、西鉄でもかなり最先端な車両。

次に紹介するのは、西鉄で甘木線を走っている、7000系。ボルスタレス台車で、省メンテナンス、軽量化を図っている。



さらに、西鉄で一番新しい9000系は、前照灯、尾灯、車内照明をLEDにすることで、西鉄の5000系と比較して約50%も、省エネルギー化を図っている。



トピックス1

西鉄は観光列車もアツイ

西鉄は、観光列車も運行を行っている。「ザ・レールキッチン チクゴ」は、車内にピザ釜が設置されていて、料理を楽しむことができる。車内は、福岡の伝統工芸品や、福岡の職人の家具やパネルがある。ゆっくりと旅ができる、おしゃれな車両だ。



こちらは、車内の優先席。お年寄りや、妊婦の方や体の不自由な方へのための席。西鉄は、環境にやさしく、お客さんにもやさしく、だれでも利用しやすい電車を目指している。



トピックス2

新駅の開業 高架工事完了

西鉄電車の天神大牟田線に、新たな、桜並木駅が開業した。雑餉隈駅と春日原駅の間に開業した。開業に合わせて、普通と急行しか停車しなかった春日原駅に特急も停車するようになった。また春にダイヤも改正された。

さらに、下大利駅から、雑餉隈駅間の高架工事も完了した。これにより以前よりもっと使いやすく利用しやすくなり、便利になった。桜並木駅以外の下大利、白木原、春日原、雑餉隈は、駅舎が新しく高架の駅舎になった。

そして、天神大牟田線・貝塚線の開業100周年を記念したキャラクターの、ガタンコとゴトンコのラッピング車両も運行中。今、西鉄はとても進化している。

西鉄は、今後もたくさんの人を乗せて走り続けていく。

編集後記

僕は、西鉄を小さいころから利用してきて、調べてみると西鉄がこんなに環境にやさしくしていることを初めて知りました。

今後、西鉄をまた利用するときは、運転士の方や、整備士の方に感謝して乗ろうと思います。

最後に今後、西鉄がまた何年もお客さんに乗せて走り続けていくことを願っています。